住宅局建築指導課御中：
社会資本整備審議会建築分科会基本制度部会御中：

首記の件につき、設備技術者の資格に関して、基本的に満たされなければならない点を中心に意見を申し述べます。

１．建築設備は建築と都市の質を決定付け、かつ、大半の建築・都市のエネルギー消費の要因を構成し、エネルギー資源・地球温暖化物質等、現代社会の生活環境悪化の基本を形成する最も重要な技術分野の一つであり、高度な技術的経験を経た者に設計を委ねねばならない。

２．一級建築士は戦後復興の戦士たるべくしてその技術と業務の包含分野が、広く浅くに徹した資格であり、そのままでは上記のような現代社会における意義を有する設備技術の設計資格者としては条件を満たし得ず、自らも他者にも誤解を与え、社会に対する責任感の喪失を招き、社会への背反となる。

３．その故にこそ、空気調和・衛生工学会制定の建築設備士や、国家資格である建築設備技術者が制定され、不完全ながらも運用されてきたし、建築士サイドからの認識もあって専門建築士制の導入が試みられてきた。従って一級建築士の専門技術者への分化は当然の変革の方向である。

４．その場合に二つの問題が残る。一つは本来の、日本の建築教育と建築技術が目指してきた建築総合教育、建築技術統合システムを如何に展開するかということ、二つ目は現実に設備設計の大半を処理している一級建築士ではない建築設備技術者を、社会公正と規制緩和の原理の下に如何に資格付けるか、という二点である。

５．前者、すなわち建築統合技術とその資格付けに付いては現代の建築技術社会においては従来の一級建築士を超える、特別の訓練と経験、そして資格付けが必要であり、(単純な)意匠・構造・設備技術の専門高度化とは別の方向性を求めるものである。ここに特級建築士或いは統合建築士のような一段上とも、或いは横に位置するとも言える資格の創設が必要である。そうすれば管理建築士とは本来このような有資格者でならねばならないことも明確になります。そしてこのような統合建築資格者は一定の試験と経験審査の手続きを経て認定されねばならず、その際、どの専門建築士(仮称)の分野からも才能ある者は登竜可能な門でなくてはならない。

６．後者、即ち一級建築士ではないが真に建築設備技術を担う大勢力である建築設備技術者については、一定の手続きを経て設備専門建築士(仮称)あるいはこのたびご提案の特定設備建築士に編入されるべきである。一級建築士の試験を経ていないこれらの者の編入に際して留意すべきは、公正な実務経歴審査と、建築技術の基礎的理解、建築との調整力を試す試験を課すべきことであろう。真に資格ある者を排除ないし差別するは決して有ってはならない。

７．これらの専門技術者の関与を義務付ける建築の規模については一定の枠がはめられるのは実際的であろう。

８.その際､小規模であるということで片付けられないのは住宅の(設備･環境)設計である。住宅は規模が小さい一方、性格としては構造と環境設備を含めた統合的視点からの計画・設計が必要であり、従来の建築士制度等(一・二級建築士、木造建築士、インテリアプランナー等)では現代の環境化しインテリジェント化した住宅建築設計を完璧にカバーしきれない。ここに住宅建築に特化して経験とトレーニングを積んだ住宅建築士のような新資格の創設が必要である。

９．これらの制度改革に当たって法改正上の課題、既得権益保護の問題のあることは十分承知しておりますが、今後の日本社会の建設をいつまでも古い縫い目の多い皮袋に託してはなりません。この機会に公明正大な建築生産(実は維持管理にも視点を置くべきですが)システムを構築する千載一遇のチャンスであり、その責任があることを主張して置きます。個々の建築士は十分にこのこれらの問題点を認識していることであり、実はコンセンサスを得ることは困難ではないと信じております。

やや理想的な意見を述べたかもしれませんが、万人を納得させるのは十分に現実的な理想論であります。なにとぞ再慮を願うもので有ります。

以上の見解に付いては私は長年,公の場で主張してきたものを再整理したものでありますが、僭越ですが関連する主な資料名を下に記載します。

建築雑誌 1978.12、建築設備と建築設備技術者像(中原信生)
建築学会環境工学委員会シンポジウム(建築教育問題における環境工学の課題)テキスト 200.3.10 建築設備の教育と技術者資格について(中原信生)、

宜しくお願いします。

中原信生
名古屋大学名誉教授
環境システック中原研究処(NESTEC)
(Nakahara Laboratory, Environmental Syst.-Tech.)
〒464-0038 名古屋市千種区春里町 2-48-20
Tel/Fax: 052-759-1638
Email: pl.nobuo.naka@kfx.biglobe.ne.jp
URL: http://www7a.biglobe.ne.jp/~nob_naka